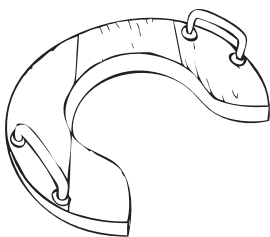


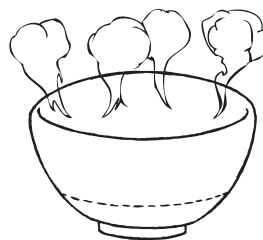
UROCO Recipe

Hot bowl carrier

NO.15



+



熱い器

=



持ち上げて移動



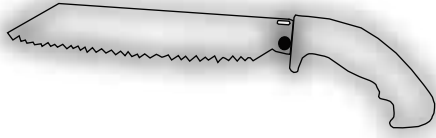
UROCO × 鍋

オシャレで簡単な冬のDIY。

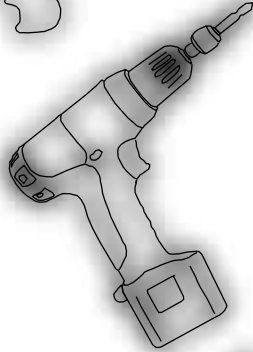


Tools / Materials

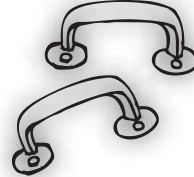
木工用ノコギリ



電動ドライバー



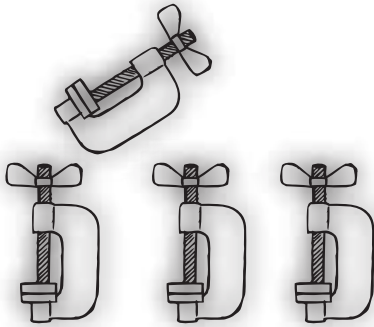
取っ手



(5で使用する場合) 装飾用木ネジ
2.4×13



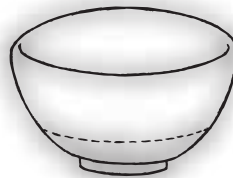
クランプもしくは重しになるもの



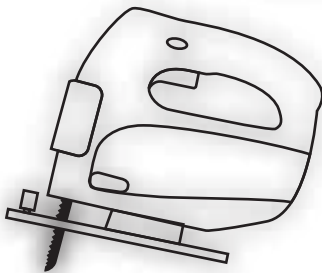
ボンドなどの木工用接着剤



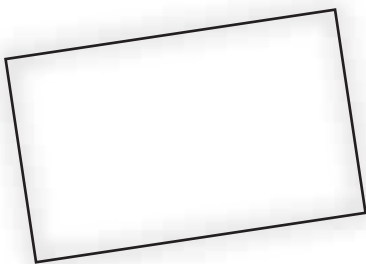
好きな丼ぶりなど器



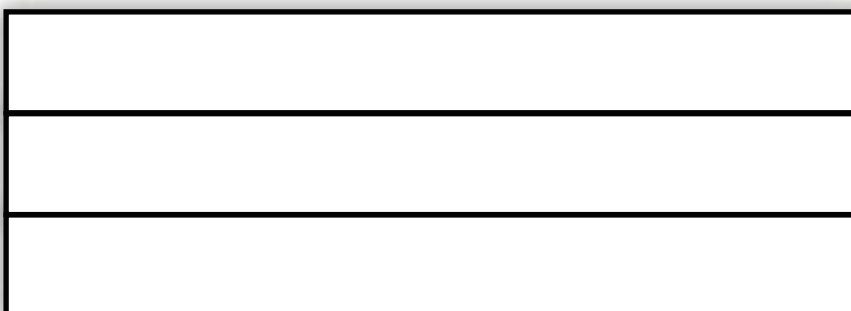
ジグソー



A3程度の紙(型紙用)



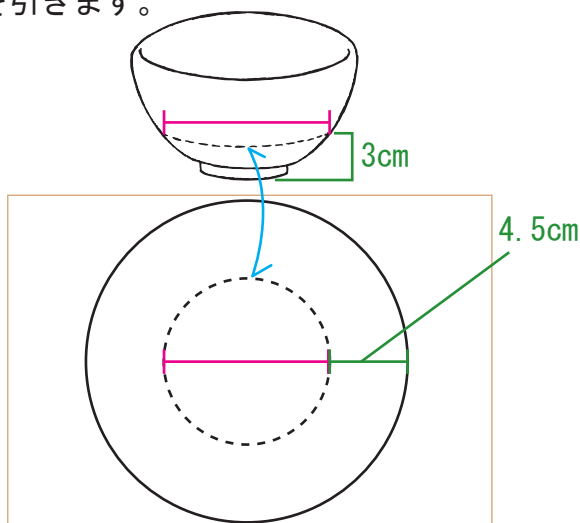
UROCO 板



Mサイズ×2〜3枚程度

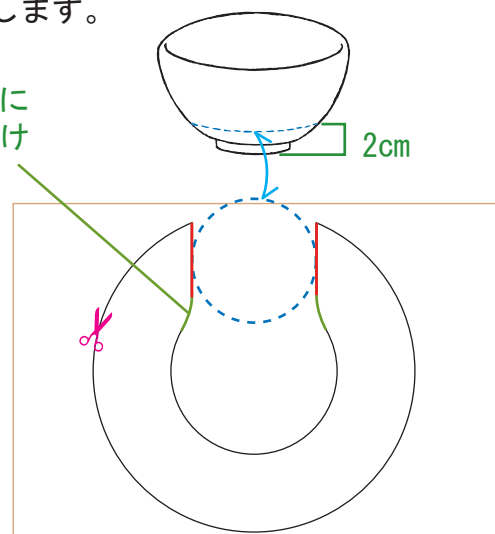
How to make

- 1 U用意した器の下から3cm程度の場所の大きさを測り紙に記載し、そこから4.5cm外に線を引きます。

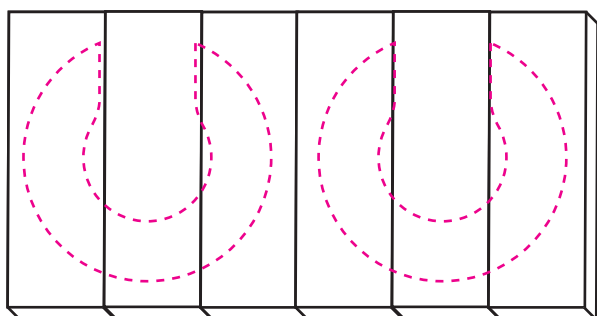


- 2 次に器の下から2cm程度の位置の大きさを測り図の位置に描き入れそれを基に下記図を作成しカットします。

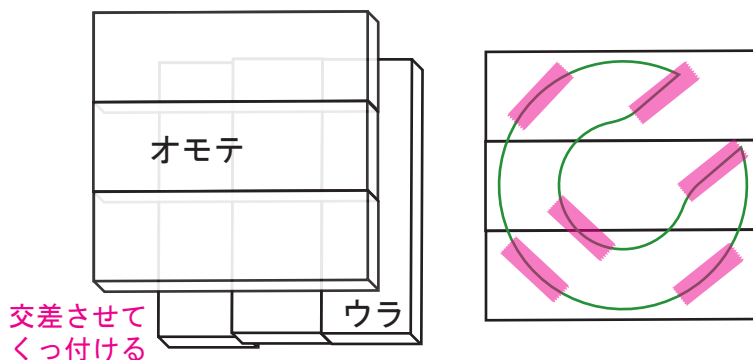
角に適度に丸みを付けます。



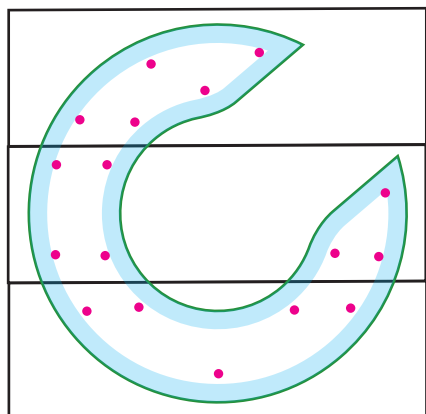
- 3 先ほど描いた一番外側の円の大きさより大きめに用意したお好きな色のUROCO板をカットします。（用意した器が大きくて6枚では収まらない場合は8枚）



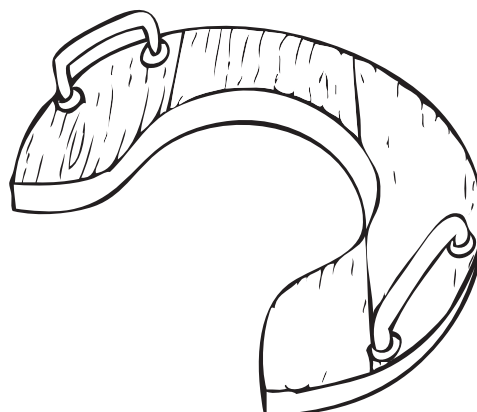
- 4 カットしたUROCO板の裏面同志を交差させボンドでくっ付け重しやクランプなどで固定し固まるまで待ち、先ほど切り出した紙をお好きな角度でテープなどで貼り付けます。



- 5 ボンドが固まる前にカットしていきたい場合、板を突き抜けない長さのビスを打ち込みます。この時板割れの原因になるのでカット予定位置から少し距離を取って出来るだけ細身のビスを選びましょう。



- 6 ジグソーもしくはイトノコなどで、型紙に沿ってカットしていきます。カット面を紙やすりで滑らかにしていき、サイドに取っ手を付けたら完成です。



Point



上手にカットする

板を上手くジグソーや糸鋸でカットするために、クランプで作業台などに固定しましょう。ジグソーはゆっくり進めましょう。



取っ手を変える

取っ手は縄紐にしてもまた違う雰囲気を楽しめます。

UROCO板

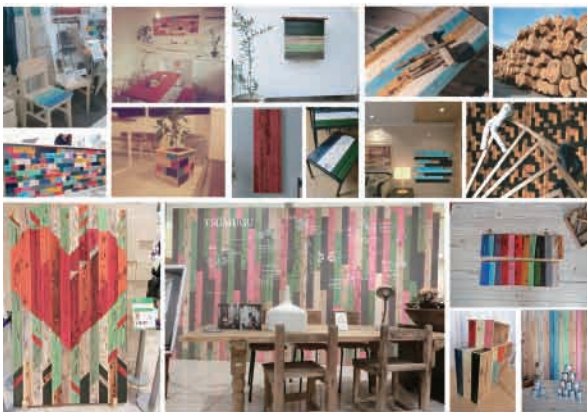
ベニヤ板など
(表面化粧済み)

薄くする

片面をベニヤなどにする事で、より薄く軽量化する事が出来ます。

★色んな形にアレンジ★

内側の作り方だけ守れば外側は色んな形にアレンジしても楽しめます。スクエアやトライアングルなどオリジナルの形にして楽しんでみてください。



WEBにて使用事例多数公開中

UROCO
Design Lab

<http://uroco.org/>